



電子複写不可



昭和二〇、一、四

第三十二軍南西諸島空襲詳報

沖繩 346

才 32A 司令部

防衛研修所圖書部

2

三十四
南西諸島空襲詳報

昭和二十一年四月
第三十三軍司令部

長

軍務處

100-11

刷

4400#
15645

月三留南西諸島空襲被害謝詳報



RS 95396
Cincpac-Cincpoa

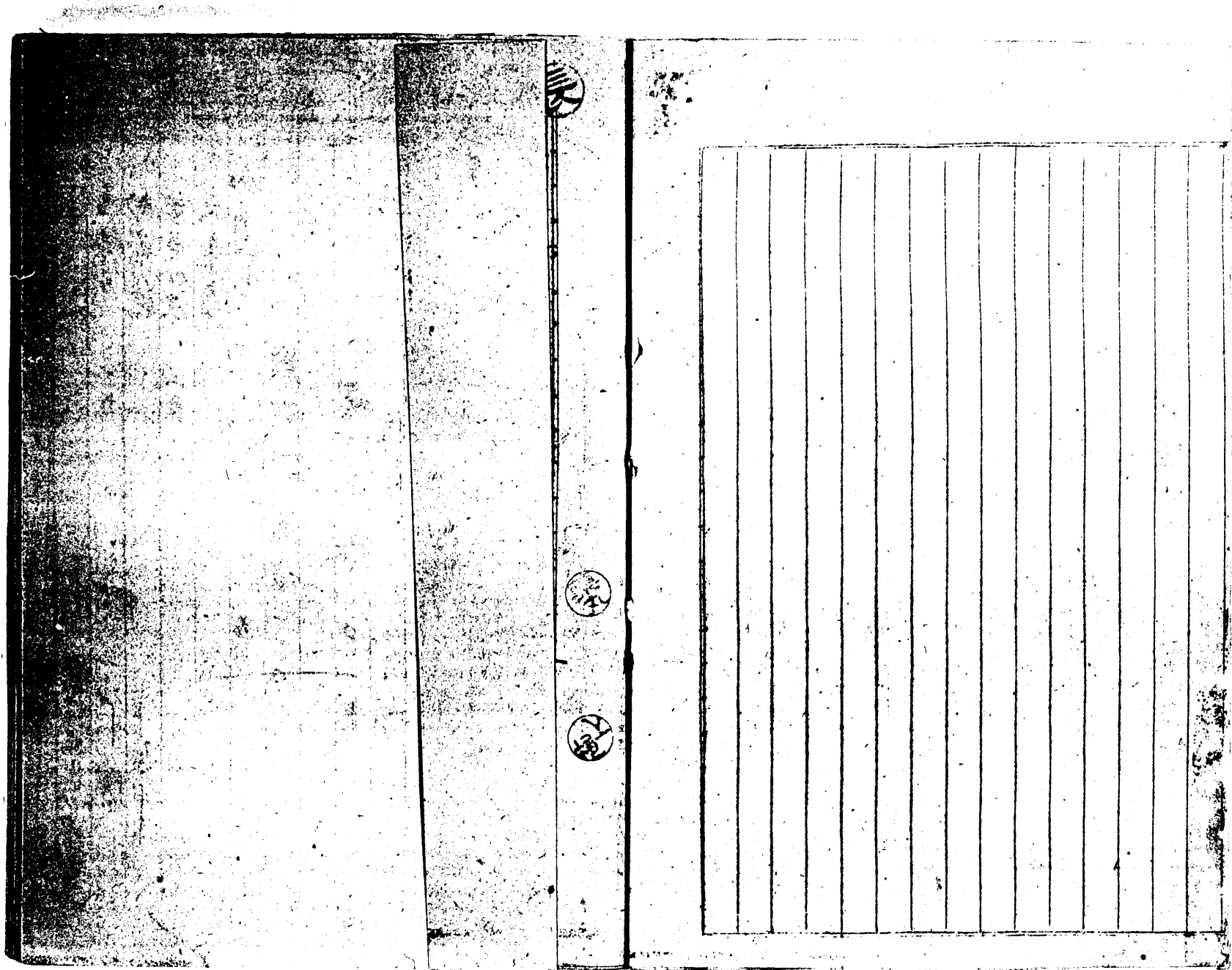
B-26979

OKINAWA 24 JUL 1945
昭和二十年一月

第三軍司令部

23967

To



一月三四日敵機空襲概要

一月三日

北飛行場 一七

中 六

小統 一八

宮古石垣 一五

計五六機

戦果

雲墜三

雲破二

二名捕獲

(二名ハ近海漂流中ヲ四日捕獲ス)

損害

人員死者ナシ 戦傷九名

カソリンドラム缶 三三個炎上

飛行機 一機故障ニ染(小破)

馬匹 一頭死亡

一月四日

北飛行場 一六

中 九

小統 三

那覇港 一五

宮古石垣 一

大東島 一

計四六機

十名捕獲

戦果 雲墜三(五機)

損害

人員 戦死一 戦傷二名

其他ナシ

三日未だハ總計機數一〇二機

戦果 雲墜六機

雲破二名

其他損害

死者 二名 負傷 七名

行方不明 二名 五〇七機帆船 一沈没

目次

- 一、敵機來襲前之狀況(三基、各部隊之配置)
- 二、天候氣象等、概要
- 三、敵機來襲狀況(我方邀襲戰鬥狀況)
- 1. 沖繩本島地區
- 2. 大東島地區
- 3. 奄美大島地區
- 4. 德之島地區
- 5. 宮古島地區
- 6. 石垣島地區
- 四、敵機各種裝備及攻襲法
- 五、敵潛水艦狀況
- 六、戰果
- 七、敵機損傷

八我カ方ノ損害
九我カ方国民関係事項
報訓

一 敵機未襲状況

一軍ハ左記諸情報ヲ綜合シ南西諸島
方面ニ敵機空襲ノ算アルヲ考慮シ
十二月三十一日赫下部隊ニ対シ之ニ即
應スルノ態勢ヲ移行セシム

左記

十二月二十九日四〇〇敵機動部隊卜判

断セラル、艦船ニ二五度 E 一ニ九度ヲ
北西ニ向ヒ移動中ナルモノ、如シ

(2) 大宮島基地哨戒機「B29」ノ南西諸島
方面ニ対スル偵察頻繁ニシテ十二月

下旬以降、來龍衣頃ニ活潑化シアリ

敵機來龍衣狀況附表第一、如シ

(3) 十二月下旬以降南西諸島台湾近海ニ

敵潜水艦ノ出現軌跡ニシテ「B29」ノ偵察
ト関連シ南方補給路ノ遮断補給
機ノ攻襲ニ大ナル觀心ヲ有シアルモノ、

如シ

2. 各部隊ノ狀況

(1) 電波隊、成隊

電波隊、成隊、十二月下旬以降敵機ノ

來龍衣類敵ヲナル狀況ニ鑑ミ敵ノ攻襲ニ
備ヘ警言戒機ノ調整ニ努カシ銳意警言
戒シ嚴ニシ各離島ト本部ト直接無
線交信本島内ノ有線通信ヲ完備シ
警言戒ニ力遣感ナキヲ期シアリタリ

敵機未襲一前後ノ運轉狀況左ノ如シ
首里 運轉中
讀谷山 日
大東島 日

奄美大島 日
宮古島 一機運轉一機ハ空中線打損
為運轉中止シアリ

ハ高射部隊
台灣ニ敵艦載機空襲中トノ通報ニ接シ
タルヲ以テ対空警言戒ヲ嚴ニシロク九ニセエヨク
戰備下令ト共ニ直々ニ戰斗配備ニ移リ
激速戰備ヲ整正ス

中嶋本島内高村部隊の配置村表第

千如斗

3 航空関係部隊

十月十日三機隊教訓ニ基キ十一月以降毎週三日に

（下旬）

（飛行場）

敵B29ノ偵察機ニ対シテ防空態勢ヲ想定シテ飛行機

燃料彈薬等ノ貯蔵施設掩護施設ノ強化ニ勉メ

敵ノ銃撃等ニ対シテ防空態勢ヲ無キ^ラ企圖^{ナシ}アリタリ

4 船舶関係部隊

那西刺港内ニ出港待機中ノ本船及機帆船

漁船ハ防空掩護圈内ニアルヲ以テ退避セシムル

（四日ハ小雨無風ノ天候ナリ）

コトナリ陸上發煙筒ヲ使用シ埠頭ニ縱火シアリ

タリ

（三隻）

四日〇九三〇SB〇五船那西刺入港時敵機

ノ襲撃ニ依リ船隻ノ若干ノ破損アリ

6 大東守備隊奄美守備隊先島某回

軍乙ロ子戰備下令受領後連力ニ該戰備

ニ移リ所在海軍特ニ對空部隊ト密ニ協

カスルトサニ對空對海上警戒ニ嚴ニシテ激雲

態勢ヲ整フ

二 天候氣象等ノ概要左ノ如シ

〇一月三日

一 沖繩本島地区

午前 晴 雨量ニ 雲高一〇〇米 東風ニ米

午後 〇 雨量六 〇 雲高 南東風七米

〇 先島地区

午前 高曇 雨量〇 雲高一〇〇米 東風ニ米

午後 〇 〇 〇 〇 南東風九米

〇 奄美地区

二 大東地区

午前 不明

午後 曇 雨量〇 雲高七〇〇米 東北東三米

6 大東守備隊奄美守備隊先島集團

軍乙号戰備下令受領後連力ニ該戰備

ニ振り所在海軍特ニ対空部隊ト密ニ協

カスト共ニ対空対海上警戒ニ嚴ニ激雲

態勢ヲ整フ

二 天候 氣象等ノ概要 左ノ如シ

〇一月三日

1. 沖繩 本島地区

午前 晴 雲量ニ 雲高一〇〇米 東風二米

午後 〇 雲量六 〇 南東凡七米

〇 先島地区

午前 高曇 雲量一〇 雲高一〇〇米 東風二米

午後 〇 〇 〇 〇 南東九米

〇 奄美地区

午前 高曇 雲量一〇 雲高一〇〇米 南東四米

午後 曇 雲量一〇 雲高一〇〇米 南東 靜穩

本日(月) 出日(月) 没 潮汐 (那覇)

日出 〇七二七 日没 一七五〇

月出 二二二一
 月没 一〇三七
 高潮 二〇五〇
 低潮 一〇四一
 一〇四五

二月四日

沖繩本島地区

午前 小雨 雲量一〇 雲高四〇〇 北東 九米

午後

先島地区

午前 小雨 雲量一〇 雲高五〇〇 北東 五米

午後

奄美地区

午前 曇 雲量一〇 雲高九〇〇 北東 五米

午後

二大東地区

午前 小雨 雲量一〇 雲高六〇〇 北東 五米

午後

水日(月)出(日)月没 潮汐(那霸)

日出 〇七一一 日没 一七五一

月出 二三〇二 月没 一一一三

高潮 二二五〇 低潮 一七四五

三 敵機來襲狀況 我機雲戰斗狀況 (附表二参照)

沖繩本島地区

二月三日

〇四〇〇 〇四〇〇 二機本島東方ヨリ中飛行場

上空ニ侵入要地偵察ト敵艦載機ノ誘導
ニ任シアリタルモノ、如ク那覇上空ヲ旋回
シタル後東方ニ脱去ス 高度九〇〇米

高射砲ヲ以テ射撃セシモ戦果ナシ

軍ハ敵機 空襲夜算ナルト台湾地区敵

艦載機未襲中ト情報ニ接シ二九二七

南西諸島全地区ニ対シ空襲警報ヲ

発令ス口九三五 沖縄本島ニ未襲セル敵
艦載機約五〇機ハ小浜中北各飛行場
ニ未襲シ銃雲シタル後口九四〇東南方ニ
離脱ス

待機シアリタル高射部隊ハ直ケニ射撃ヲ
開始シ爾余ノ部隊ハ空襲警報發令

ト同時ニ予備態勢ヲ得リ急襲

艦艇カヲ救ヒフ

一二〇五敵機、空襲偵察ヲ行ヒテ、空襲偵察
報ヲ解除ス

一月四日

一九三〇電波警戒機(南谷山)那覇朝起ニ突

一四〇五五〇科ニ不明機ヲ捕捉シタルヲ以テ

機ヲ失カス各部隊ニ通報ス、一九五五敵艦

載機約十七機沖繩本島北部ニ進入スト

ノ報告ニ依リ同時本島地区ニ対シ空襲偵

察報ヲ發令一〇〇五小隊中北各飛行

場那覇港ニ約三〇機折カラノ小雨ヲ利

用シ超低空ヲ以テ來襲偵察更ニタル後

一〇一三離脱ス

本四日ノ未だ敵機ハ超低空ニテ侵入本島

ヲ上ル方ヨリ附近ヨリ北上警戒機ノ弱ク大
タル北東方向ヨリ超低空ヲ以テ飛行場ニ
進入セシモノ如シ

待機中ノ高射部隊ニ直々射撃ヲ開始ス

一口口空襲警戒言報ヲ解除ス

ハ未だ敵機ノ航路同附表第三乃至第六ノ

中敵機ノ攻撃地帯ヲ用標的表第八ノ

2 大東島地区

空襲警戒言報下令受領後直ぐ乙砲戦備

移リ対上空海上警戒戒シ嚴シク邀撃態勢力

ヲ整正フ 三日未だ警戒ナシ 四日0729一機

高度七千ニテ進入セルモ投弾スルコトヲ脱去ス

3 奄美大島地区 兩日共敵機未だ警戒ナシ

4 徳之島地区 兩日共敵機未だ警戒ナシ

5 高島地区

三日一四ノ夜一三四〇ニ回三回ノ敵艦載機各四機
進入セシモ投彈スルナリ脱去ス別ニ三〇〇一機海上ニ
不時着シ搭乗者一名ヲ捕獲ス我方被害ナシ
四日一〇〇〇艦載機一三機進入漁船ニ投彈監視
有シ砲撃セシモ被害ナシ

6 高島地区

三日敵艦載機二四七一機偵察一三四回機銃雲一〇〇三二機
船中及曳シ突初ス所在印隊ハ海軍部隊ト協力敵艦撃セシモ
戦果ナシ我カ方損失ナシ
四日一二〇三敵大型機二機進入船着港内ノ

船中ニ対シ機銃掃射ヲ加ヘ一二〇九脱去ス

船同其ノ他被害ナシ

四 敵機ノ機種装備及攻撃法

以三日空襲セリ敵機ハF6Fクラミン艦載

機約五十機及D29一二機ニシテ主トシテ

我カ飛行場ヲ主目標トセシモノ、如ク各飛

行場ニ対シ銃雲ヲ行ヒタリ又B29ハ何等

攻撃ヲ受ケテ脱去セリ

其攻撃は三機又ハ六機編隊毎ニ約一十
米附近ヨリ同時急降下ヲ行ヒ約五〇〇米
ノ近距離ヨリ銃撃ス

攻撃ノ際ハ殆ト太陽ヲ背ニシ防空砲火ノ
照準ヲ困難ナラシメ離脱ニ方リテハ我カ方
防空兵器ノ少キ海正面ヲ選定ス

二四日ハ前日ト同シノ「グラマシ」艦載機ニシテ

飛行場及船舶ヲ至目標トセシモノハ此

敵機ハ小雨シ利雨勢低キタマ陸海上空概ネニ由ラ

超低空ヲ以テ行動ス目標上空ニ至リ

始メテ高度ヲ取り編隊ノ急行下銃撃ヲ行ヒ

地上五〇米附近迄降下ス

小雨ト相俟テ低空行動等ニ依ル目標ノ選定

困難ナリシ為ニ我カ方殆ト敵艦ヲ

我カ高射部隊又射(視)界ノ制限ヲ受ケタリ
三兩日共爆彈 投下無ク 專ラ銃撃ヲ
行ヘリ

五敵潜水艦ノ状況

十二月中旬以降沖繩本島以北海面ニ敵
潜水艦ノ出現極メテ活潑ニシテ 12月29日偵察
ト同連セシモノヤク十二月下旬本島近海ニ於

テ輸送船六隻沈没ス 然レ共三四日ノ空襲
ニ際シテハ敵潜水艦ノ活動ヲ認めズ

六戦果(附表第七参照)

ノ三日
重傷三、重破二、宮古島ニ於テ敵搭乗員
一名捕獲

ノ四日
重傷三(内不燃弾一) 兩重砲海上ニ搭乗員
一名捕獲

七、射耗彈附表第八ノ如シ

八、我カ方ノ損害附表第九ノ如シ

九、地方官民間係事項

ハ、敵艦載機近五十機ヲ以テ三四日共約二〇

分向ニ百リ主トシテ各地飛行場及那霸

港船舶等軍事施設ニ対スル攻襲ニシテ

地方官民ノ被害殆んど見ルベキモノナシ

被害状況附表第十ノ如シ

ニ、治安状況

十月十日空襲ノ被害シ言メタル官民八十

二月下旬以降相踵ク敵偵察機ノ飛來

ト今次空襲ニ依リ一部ニ於テハ近ク敵機

ノ大空襲ト相俟ソテ敵上陸ノ流言蜚語

アリテ民心ハ極度ニ不安動搖シ 衣類

家具炊事用具等ヲ携行シ避難スル者等

下リタル

毛器倒ト密ニ連絡シ保

せノ万全ヲ期シアリテ治ニ安上息受上備ハスベキ

事象ナシ

軍ノ迅速ナル戦果発表ハ人ニ安定ニ大ナ

ル好影響ヲ与フベシ

十戦訓

今次未だ敵機ハ第三十八機動部隊所

屬下六六グラムミレ戦斗機ニシテ攻襲法

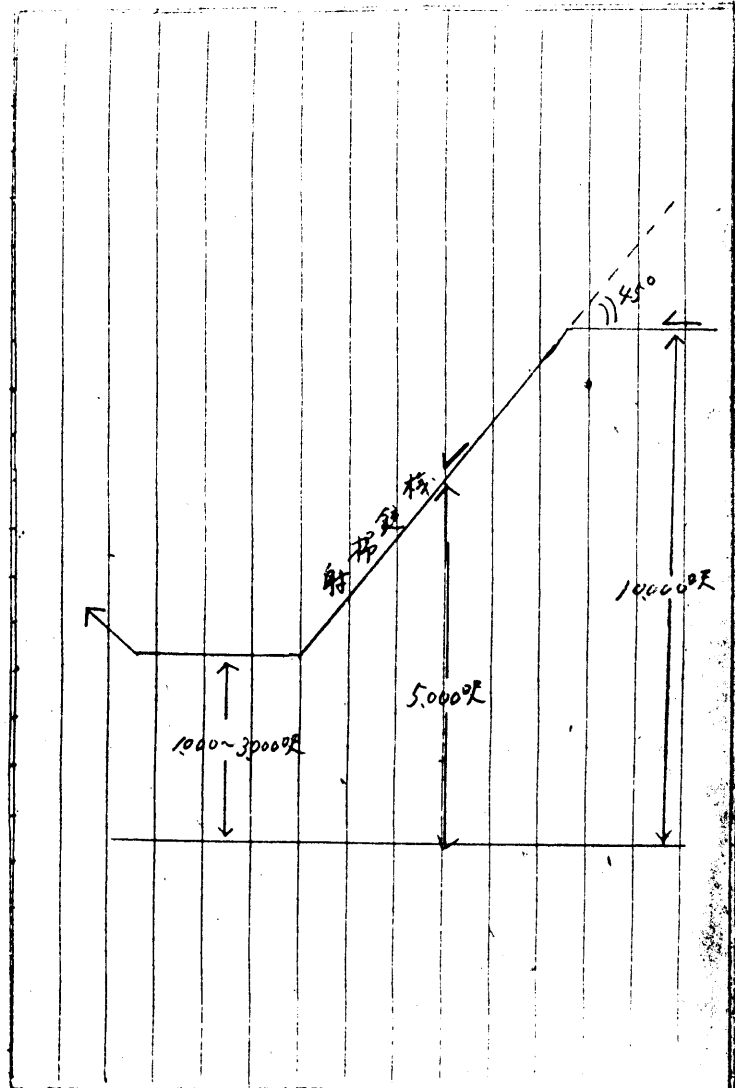
ハ三乃至六機ノ同時急降下銃雲ヲ實質

施ス其ノ訓練技術共ニ拙劣ニシテ敵

搭乗員ノ素質ノ低下ヲ暴露スルモノアリ

其ノ戦法(急降下法)左ノ如シ

2. B29ヲ以テ攻雲機ハ誘道寸ニ任ジリタル
 モノニアラズヤト思惟セラル、点アリ
 即チ本空襲ニ在リテハ敵艦載機未襲
 約三十分前「B29」目標地点上空高々
 度ヲ旋回シアリテ投彈スルコトナリ船
 載機進入後飛去ス



3 偽騎物ノ必要性

北飛行場ニ於テハ空能取当日偽飛行機シ偽裝表

完備シ屬々配置替シ實施シ亦在機ハ飛行場

周辺(大夜中夜)事故機ト混合配置セラル等偽裝遮蔽

ニ努メタル結果地上飛行機ノ被害皆無ナリ

故ニ偽飛行機ノ氣運増進等事故機ノ利用價

値極メテ大ナリ

又在機ハ徹底約ニ燃料ヲ技キ留ヲ要ス。

多日氣象如ノキシ一機敵ノ銃雲ニ依リ被

彈セルモ燃料ヲ技キ留キタル為大欠上ヨ免レタリ

ニ依リ被撃留中ハ必ス油技キノ習性ヲ肝要トス

5 耐弾抗カシ有ニ通信所ノ必要極

耐弾抗カシ有ニ通信所無キ為空襲時ニ通信施設
シ同座守ニ務ルコト無キニ至ルハ通信量亦シク増加
スルニ拘ラズ指揮連絡シ一付杜絶セシム事亦就ニ支障ナ
リテエト大クハナリ

附表目次

附表第一 十二月下旬以降南西諸島敵機

附表第二 襲襲状況一覽表

附表第三 敵機未襲時刻及機數一覽表

附表第四 敵艦載機未襲航跡圖

附表第五 戰果一覽見表

附表第六 射耗彈數表

附表第七 人馬死傷表

附表第八 航空機後方被害一覽表

附表第九 船舶被害一覽表

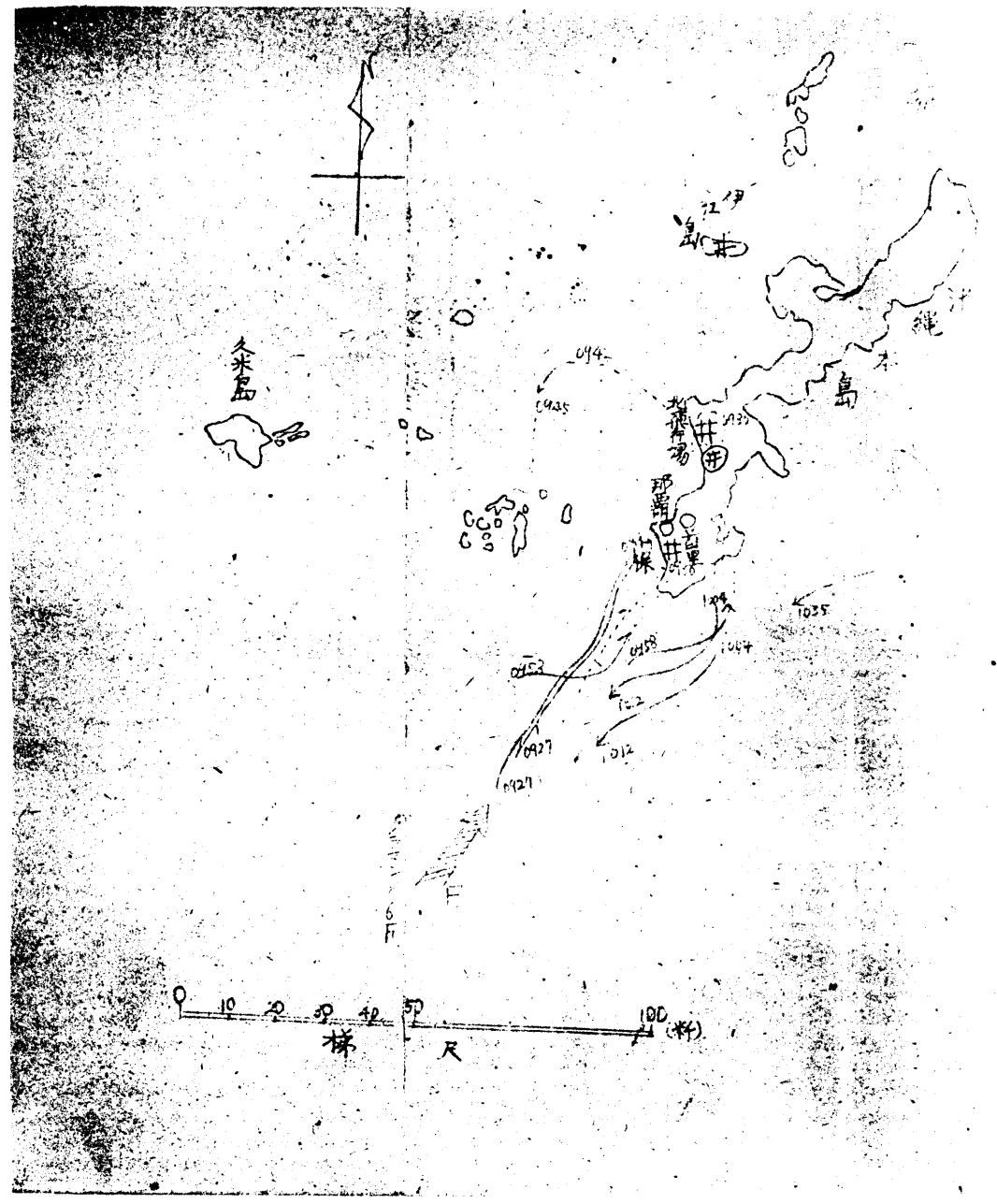
附表第二

敵機來襲時刻及機數一覽表

備考	兩日總計	4/1						3/1						日月時刻		地區			
		合計	一三〇三	一〇〇〇	一〇一一	一〇一〇	一〇〇五	合計	一三〇〇	一三〇四	一三〇三	一三〇七	一三〇四	一三〇〇	一三〇〇		〇九三五	〇九三五	
本表外一月三日〇八日〇一三二九二枚沖繩本島上空飛來アリ	29	12					12	17								5	12	北原向	沖繩
	12	6				6	6							6				中葉向	
	27	9				9	18						15		3			小津向	本島
	3	3			3													北前港	
	21	30			3	15	12	41						15	6	8	12	計	大東島 大島 石宮
	1	1					1												
	30	15	2	13				15	4	4	2	1	4						
	102	46	2	13	3	15	12	56	4	4	2	1	4	15	6	8	12	合計	

附表第三

二月三日敵艦載機襲擊航跡圖



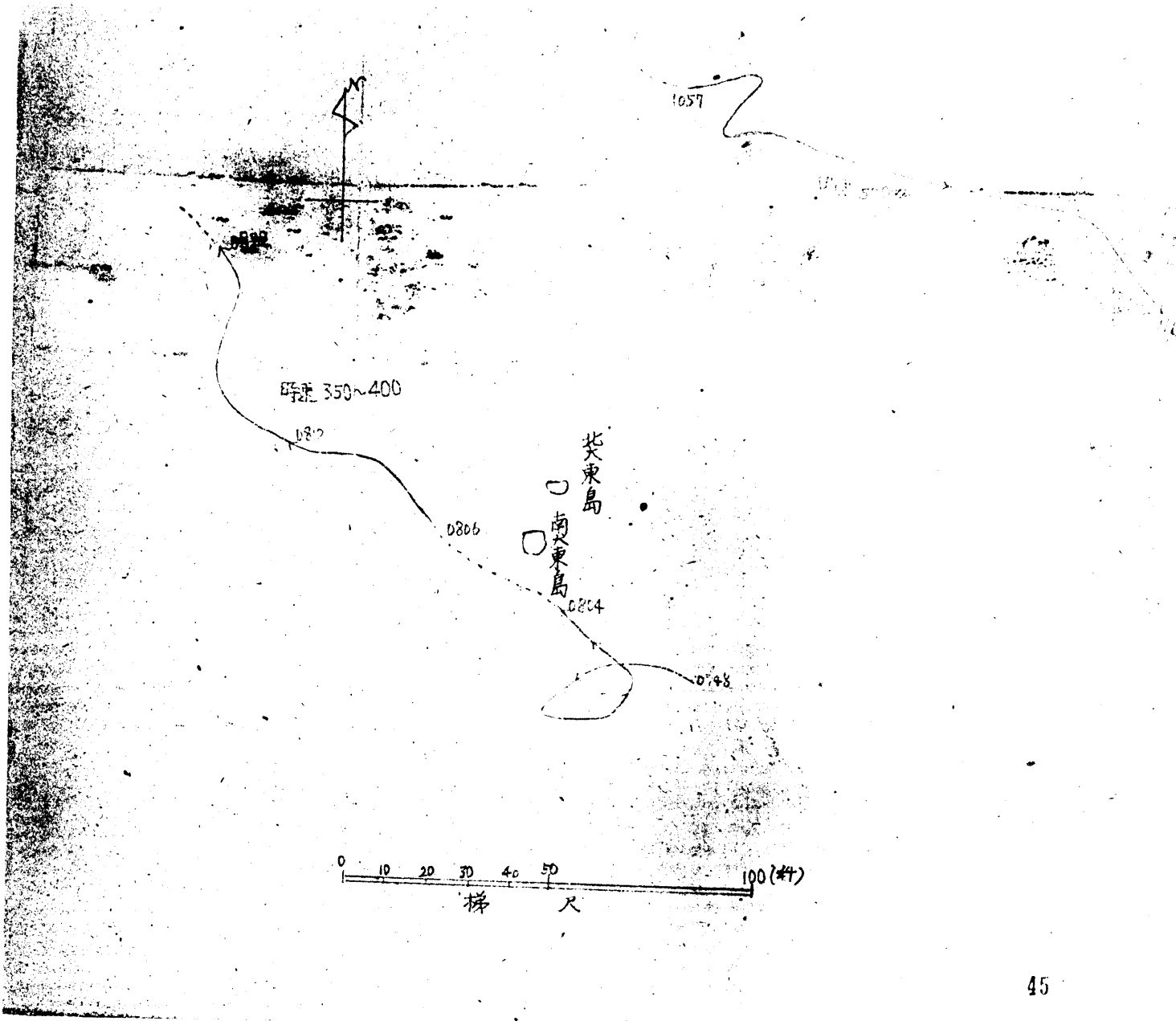
附表第四

一、四、日、海、軍、隊、未、發、跡、圖



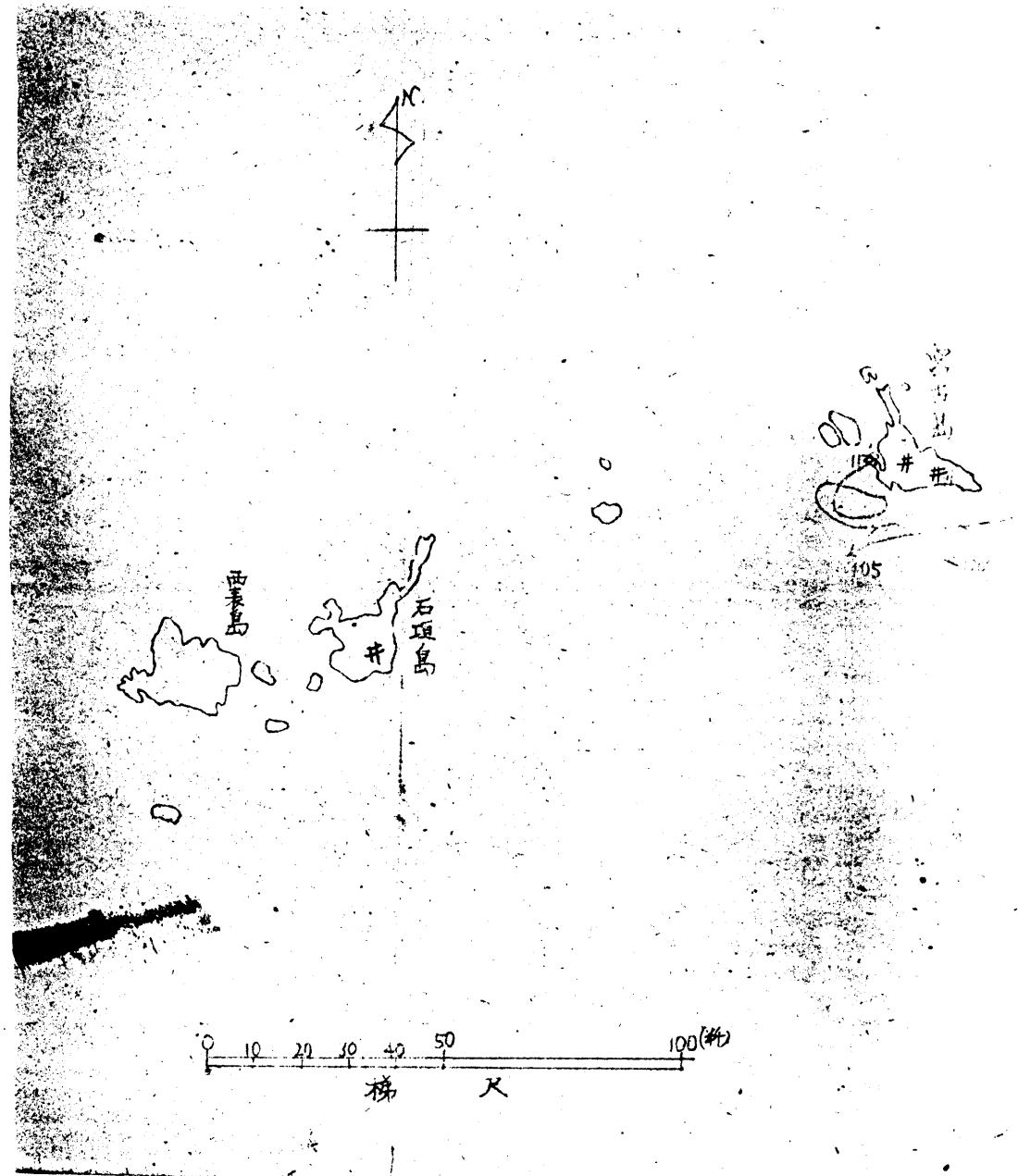
附表第五

一月四日 敵艦戰隊 浮葉航跡圖



附表第六

一月四日 蘇州航線 蘇州航路圖



附表第七

三四日戦果一臨見表

考 備	日 四			日 三			部 隊 名	集 団 数	使 用 火 器	時 刻	場 所
	機 関 砲	機 関 砲	高 射 砲	機 関 砲	高 射 砲	機 関 砲					
一本表ノ外官右ノ如ク於テ放ガラズニ一機海上ニ不射者ニ於テ又 一名ヲ捕獲ス 二即前沖海上ニ於テ於テ又一名ヲ捕獲ス	機関砲一五大隊	機関砲二四大隊	高射砲 五大隊	機関砲一〇四大隊	高射砲 八十一大隊	機関砲	一	一	MA	一〇〇五	曾 辺 南 方 海 上 五 料
									MA	一〇〇六	小 松 飛 行 場 南 海 上 一 料
									AA	一〇〇五	大 崎 海 上 三 料
									MA	〇九四六	小 松 飛 行 場 南 海 上 四 料
									AA	〇九四七	曾 辺 南 方 海 面
									AA	〇九五三	先 原 特 設 台 正 面 海 上

附表第九

三四日空襲人馬死傷表

部 隊 別 分	戦		死		傷		死傷	
	將校	兵	將校	兵	將校	兵	馬匹	高
第十九航空地空司令部		(一)	(一)	(一)				人員傷 (三)
第五飛行場大隊		(一)	(一)					人員傷 (四)
步兵第四師團								
步兵第三十二聯隊								
步兵第三十三聯隊								
野砲兵第一二聯隊								
陸白第二大隊								
第十一船舶團								
陸神尾支部								
野砲兵第七聯隊								
合 計			(八)	(一)	(四)	(一)	(一)	人員傷 (七)

備考
 三四日四日午後
 死傷ノ大印ハ海上ニ於テ敵機ノ機銃掃射ヲ
 受ケタリトス

附表第十

三由日南由諸島空軍艦艇航空関係被害調査表

日	次	部隊名	局目	全焼	中焼	小破	損害区	計	備考
3		北飛場	カリン玉 飛行機	一		一		一	使場より第一 機中二機(カリン玉) 機中二機(カリン玉) 機中二機(カリン玉) 機中二機(カリン玉) 機中二機(カリン玉) 機中二機(カリン玉) 機中二機(カリン玉) 機中二機(カリン玉) 機中二機(カリン玉) 機中二機(カリン玉)
4		小島飛行場	飛行機	三	二			三	四日損害ナシ

附表第十一

船舶損害一覽表

備考 機位 機位 機位 機位 機位 機位		四	日	損	備考	
		球	次			部
		五	隊	名		害
		六	連	品		
		七	絡	目		
		八	股	破大		
				破中		
			破小			
			計			
		三	修			
		理	可			
		能				

附表第十二

地方側損害一覽表

備考	西表島	讀谷山	並和志	那霸	國頭	名護	場所	死亡者	負傷者	其他損害	摘要
一本死傷者沈没船一艘救済不能ト人	三	二	一	一	一	一					
	王冠橋帆張一										
	移村ノ格致トナリ										

